

平成29年度 敬老会特集

中所自治会 会長 植本 十七美

今年も高松市長の動画配信の生メッセージで中所自治会の敬老会が始まりました。お祝いの贈呈とお接待で場が和んだところでメインイベントの余興が始まりました。

一番手は、敬老対象者の詩吟です。朗々とした語りでお年を感じさせない素晴らしい詩吟でした。次は、いつもお願いしていたギター演奏が都合がつかなくて初お目見えの『かなでの会』にお願していた為、少し心配していましたが、ピアノとフルートの演奏が始まるとたちどころにフルートの優しい音色に引き込まれて聞きほれてしまいました。昔懐かしいメロディーに合わせての合唱で大声を出し、又、認知症予防のクイズや『いい湯だな！体操』をみんなでを行い、頭と体を働かせて気持ちの良い時間を過ごせました。今年はずもたちの参加が少なく寂しかったが、対象者の方に『とても楽しかったよ！ありがとう』の声を頂き、地区のお手伝いの方々共々良かったと思いました。



<中所自治会>

郷東自治会 副会長 佐藤 捷洋

時期はずれの台風で週間順延したこともあって、出席者は四十九名とやや減少しましたが、まずは盛會裏に終了しました。

会は、式典、高松市長寿福祉課の係長さんによる「地域包括ケアと地域の互助活動」のお話、余興、お楽しみ抽選会と、前回とほぼ同じで、式典は極力簡潔にしました。

余興の部では、懐かしい大正琴の調べ、勇壮な獅子舞、子どもたちの愛らしい歌声と手づくりのプレゼントなどに、会場が笑顔に包まれ、毎回人気の手品では、『子連れ狼』が登場、子どもたちのチャンバラごっこに拍手と笑い声が沸きあがりました。

敬老会を機に、地域住民間、世代間の交流が進められることを期待しています。

鶴市団地自治会 会長 大塚 秀基

例年通り、役員有志で敬老会実行委員会を立ち上げ、実施致しました。

三回目の単独実施となりますが、毎年、対象者の方の出席率が高く、運営側としては励みになり、大変感謝しています。

今年も、ヨハネの里様より、二名の講師の方にお出でいただき、出前講座を開催いたしました。健康講話・体操・ゲームと、対象者も運営側も一緒に、楽しい時間を過ごしました。

今後、自治会内で広く出席を得られる様、回数を重ねていきたいと思っております。



<鶴市団地自治会>



<郷東自治会>